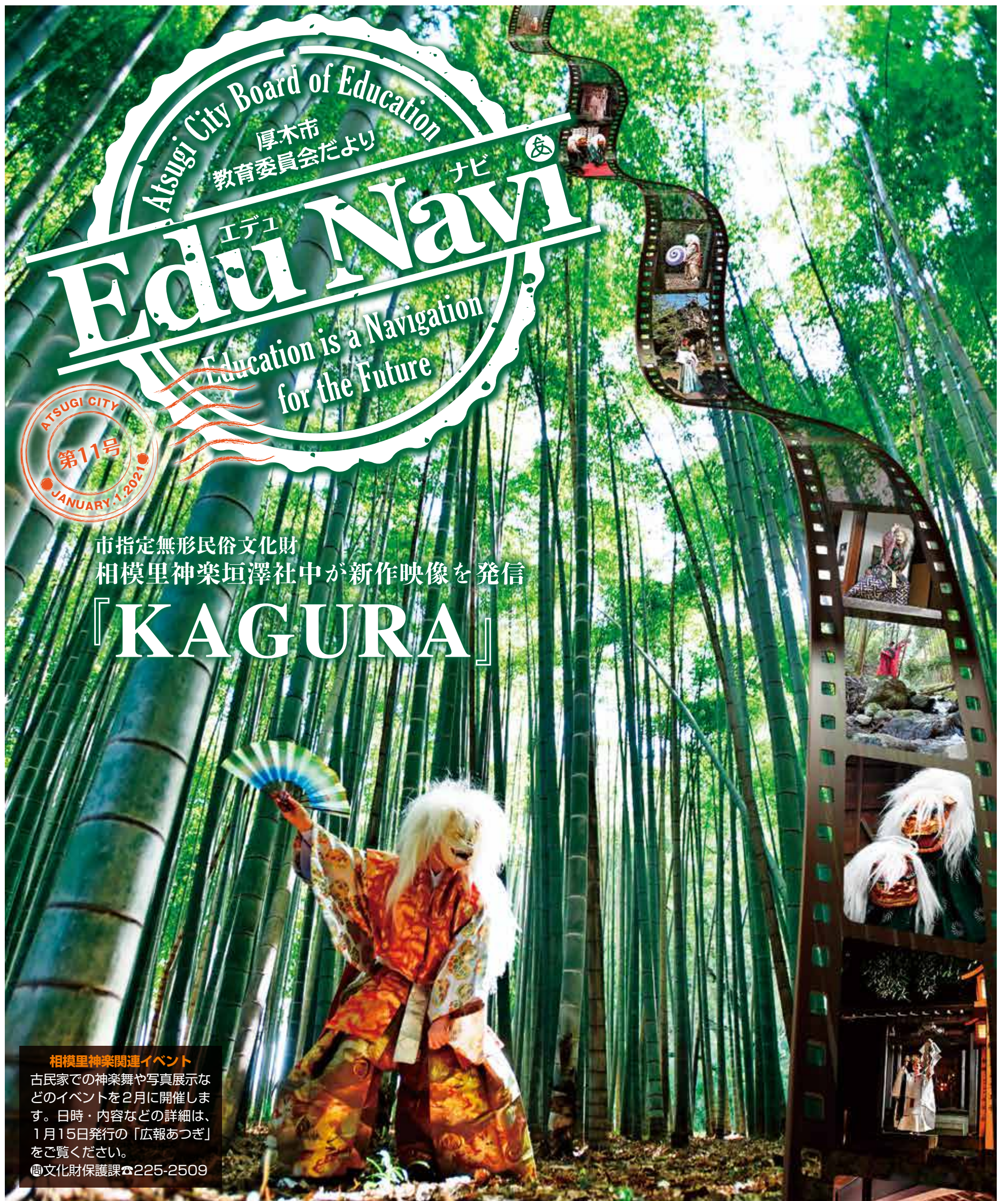




Atsugi City Board of Education
厚木市
教育委員会だより

Edu Navi

Education is a Navigation
for the Future

ATSUGI CITY
第11号
JANUARY.1.2021

市指定無形民俗文化財
相模里神楽垣澤社中が新作映像を発信

『KAGURA』

相模里神楽関連イベント

古民家での神楽舞や写真展示などのイベントを2月に開催します。日時・内容などの詳細は、1月15日発行の「広報あつぎ」をご覧ください。

文化財保護課 ☎225-2509

Message

日本の神道は、森羅万象に神が宿るという概念から派生しています。そこで、八百万の神々を演じる私たちの神楽舞を、地元厚木などの美しい自然の中で撮影しました。普段と異なる臨場感や神秘性を創り出すことで、神楽が天変地異や疫病蔓延に対する「祈りの芸能」であり続けてきたことを多くの方に感じてほしいと思ったからです。

制作に当たっては、「美しい神楽舞」をコンセプトとしました。神楽の世界では大変珍しい「女性神楽師」を主軸に置き、神楽が日本古来から持つ「美」の真髄を徹底的に追究した作品に仕上がっていると、自信を持っています。 垣澤瑞貴

空へ伸びる無数の竹に差し込む光を浴びて、優雅に舞い踊る「天狐」。神を樂しませ、魂を鎮める神事芸能として、古来より全国各地で受け継がれている里神楽で演じられてきました。

厚木では、相模里神楽 垣澤社中（垣澤勉家元が、百年を超え大切に継承してきました。近年、家元の長女、垣澤瑞貴さん（37・写真右）がテレビCMや映画に出演したり、新作神楽を創作したりと、精力的に活動を展開。ところがその矢先、新型コロナウイルス感染症の拡大により活動の場が奪われてしまいました。

厄病退散や無病息災を祈願するものでもある神楽の舞。瑞貴さんは今こそ広く発信しようと、県の補助金を活用した映像制作を企画します。古民家や竹林、神社などのロケ地を厳選し、映像クリエイターと共に里神楽の新しい見せ方に挑んだ垣澤社中。伝統の継承と革新の先に、里神楽の新たな未来を拓きます。

新作映像「KAGURA」は [垣澤社中みずき会](#) [検索](#)

社中のホームページは [垣澤社中](#) [伝統芸能](#) [検索](#)

教育委員会だより **Edu Navi** | 広報あつぎへの折り込みのほか、市役所、アミューあつぎ、駅連絡所、公民館、中央図書館、保健福祉センターなどに設置
編集・発行／厚木市教育委員会 〒243-8511 神奈川県厚木市中町3-17-17 TEL.046-223-1511(代) FAX.046-224-5280 詳しくは [厚木市教育委員会](#) [検索](#)

自分らしい「健やかさ」について考えよう

子どもの体力向上のために大切なのは、外遊びと生活習慣です。幼い頃の外遊びが多いほど、脳の発達を促し、さまざまな体の動かし方を覚えていくことで、その後の成長過程においても運動やスポーツに積極的に取り組むようになることが分かっています。

生活習慣では、朝食を欠かさないことが重要です。毎日食べる子どもは、そうでない子どもよりも、はるかに意欲的に物事に取り組むことが分かっています。保護者がスマートフォンを見ずに子どもと食事をする、家庭内でのあいさつを大切にするなど、家族できちんとした生活を送ることが、健やかな体づくりにつながります。

大人にとっても、体力の維持向上はもちろん重要で、ポイントには第二の心臓と言われる足です。筋力量は20歳以降少しずつ減少しますが、中でも全身の筋肉の7割を占める下半身の減少量が大きくなります。日常生活で歩く量を増やすことや、ランニング、筋トレに取り組むことが健康であり続けるための秘訣です。

コロナが拡大して以降、ランニングやウオーキングをしている人が以前より増えたように感じています。外出自粛や在宅勤務の影響を受け、自分の体力や健康と向き合う人が増えたからではないでしょうか。体力は、身体だけでなく精神面も含めて、あらゆる活動の源となるものです。コロナが猛威を振るう今だからこそ、自分や家族にとっての「健やかさ」について考えることが大切だと思います。



東京工芸大学
山本正彦教授

市民協働で取り組む

厚木市立小・中学校の令和元年度体力・運動能力調査(統計①)では、全国平均を上回る種目が増加しましたが、8種目の合計点は下回っています。運動習慣などの調査から見える課題は、朝食を毎日食べる割合の低さと、小学生の運動時間の少なさです。教育委員会では、家庭・地域・学校と協働し、運動や朝食の大切さの啓発、気軽にスポーツに親しめる取り組みを進めていきます。

社会の変化が背景に

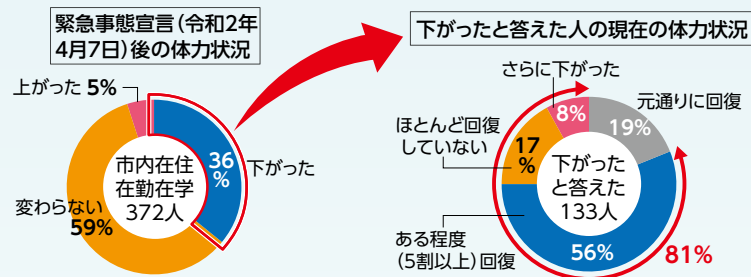
体力低下の主な原因は、外遊びの減少だと考えられます。テレビゲームなどの室内遊びや習い事の増加、空き地などの遊び場の減少、公園での「ボール使用禁止」といった遊びの制限が理由として挙げられます。保護者の意識の変化も影響しています。小・中学校のベテランの先生からは、最近の子どもの課題として「体のバランスを保てない」「しゃがめない」「真つすぐに走れない」「スキップができない」「ボールの投げ方が分からない」「転んだ時に手が出ず、顔を上げることがある」などの意見が聞かれました。

体格向上でも体力は低下

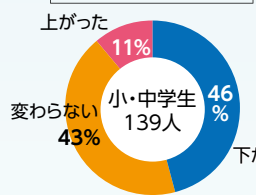
コロナ禍に限らず、子どもの体力低下は昭和60年頃から見られ、長年の課題となっています。スポーツ庁の調査(統計②)を基に長期的な比較をしてみると、前回東京オリンピックのあった昭和39年に比べて、現在の10〜19歳は全ての年齢で身長と体重が増加。特に男子の伸びは大きく、10代後半では身長は約5センチ、体重は約5キロ上回っています。一方握力は15〜19歳で当時を下回り、筋力の低下が見られます。

教育委員会では、特集の企画に当たり、体力に関する市民アンケート(統計③)を実施しました。4月の緊急事態宣言により外出が制限され、体力の低下を感じた人は36%。そのうち、80%以上の人々が今も完全には回復を実感していませんでした。小・中学生は、46%が体力低下を実感し、休校の影響が大きいことが分かりました。

統計① 体力に関する市民アンケート (令和2年12月実施)



統計③ 緊急事態宣言後の小・中学生の体力状況



先生の目から見た児童・生徒の体力状況

- 学校再開後、少しの運動で疲れてしまう児童が多かった
- 現在も休み時間の過ごし方に制限があり、児童の外遊びへの関心が低くなっている
- 休校中、意識的に運動をした生徒とそうでない生徒との体力差が大きくなった

健やかな体づくりのために

特集

見つめ直そう！
体力向上の大切さ

いよいよ今年は、東京オリンピック・パラリンピックが開催され、スポーツや運動への機運が高まることが期待されます。一方で、新型コロナウイルス感染症(コロナ)の拡大による行動や施設利用の制限など、思い切り体を動かす機会が減っているのが現状です。今回は、各種調査の結果を基に、充実した生活を送る上で欠かせない健やかな体づくりの大切さについて考えます。

公益財団法人
厚木市スポーツ協会

未来のトップアスリートの育成を目指す、幼児から中学生までを対象に**あつぎスポーツアカデミー**を実施。基本となる運動能力や体力、バランス感覚、俊敏性などを伸ばしています。

中学生には、競技ごとの技術向上に向けた強化練習を実施。著名な指導者や現役選手から高い技術を直接学べる機会も提供しています。



かけっこなどで基礎体力の向上を図る
小学生**体力づくりアカデミー**



クラス対抗の**ドッジボール大会**(荻野中)



学校運営協議会を通じて地域住民を講師に招いた**投げ方教室**(森の里小)

市立小・中学校

学校では、文部科学省が定める学習指導要領に基づき、**体育(保健体育)**の授業を実施しています。目指しているのは、生涯にわたって心身の健康を増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することです。基本的な技能を身に付けるとともに、課題の発見と解決のための思考力、それを他者に伝える力を養います。

授業以外にも、集中的に体力向上に励む期間を設けている学校もあります。小学校ではランニングや縄跳びなどを実施。中学校ではサッカーやドッジボール、駅伝などのスポーツ大会を開催しています。



体づくり週間での持久走(妻田小)



体育館を開放する**ふらっとスポーツ**(睦合西)



▲触れ合いと介護予防を目的とした**しあわせ体操**(玉川)
◀親子で参加できる**ボルダリング講座**(依知北)

公民館

市内15の公民館では、多彩な学びを提供する**学級・講座**を開催。幅広い世代が楽しく体力向上や健康増進できる機会を提供しています。

地域と公民館が協力して、運動会や健康まつり、放課後などの居場所づくりを目的とした「地域子ども教室」も開催されています。教室では、運動や工作などを実施しています。

啓発活動としては、健やかな体づくりの基礎となる「早寝早起き朝ごはん」の大切さを公民館まつりなどで呼び掛けています。

体力向上と健康増進
に向けた取り組み

スポーツ推進課

幅広い世代を対象に、**スポーツに触れ合うイベント**を開催しています。平成27年に学校法人日本体育大学と締結した協定に基づき、講師の派遣や高水準の施設を体験できる「**スポーツキャンプ**」の実施など、同大学と連携した取り組みも展開しています。



ニュースポーツを体験できる
スポーツなじみDAY



日本体育大学の非常勤講師を招いた
フィットネス教室

参加者の声

慣れないリモートワークに変わり、あまり運動ができていない中、親子で楽しく体を動かすことができて良かった(20代・女性)

地図に示された電柱を探し歩いて得点を競う**あつぎサーチワークチャレンジ**。コロナの影響により、イベントの中止が相次ぐ中、3密を避けられるスポーツイベントとして開催し、308人が参加しました。

▶イチオシ政策

PICK UP 1 小中学校適正規模等推進事業

児童・生徒数の減少が見込まれる中、将来にわたって児童・生徒がより良い教育を受けることができる環境を整備するため、公募の市民の方や学校関係団体、



10人の委員が学校の在り方を議論

学識経験者で構成する委員会を設置し、学校の適正規模(学校当たりの学級数の範囲)や適正配置(通学距離・通学時間の上限)などの検討を進めています。市では、委員会の審議を踏まえ、令和3年度に適正規模・適正配置の基本方針を策定します。

PICK UP 2 教育資料提供事業

教材や教育研究の成果をまとめた冊子を作成し、小・中学校などに提供しています。教材では、小学校社会科副読本「わたしたちのあつぎ3・4年」を全面的に



教育研究所が作成する副読本

改訂。現在は、中学校社会科副読本「厚木」の全面改訂に取り組み、令和3年度から新しくなります。子どもたちが厚木市についてさらに興味を持って学習できるように、まちの様子や仕事、暮らし、歴史などを写真やイラスト、グラフを交え、分かりやすく編集しています。

PICK UP 3 体育施設改修事業

厚木市公共建築物の長期維持管理計画基本方針に基づき、計画的な予防保全工事の一環として、及川球技場観覧場の外壁・防水改修と駐車場側に設置さ



改修工事が進む及川球技場

れている防球ネットの修繕を実施しています。各体育施設の長寿命化を図るとともに、利用者の皆さんが快適に安心して安全にスポーツ・レクリエーション活動ができるよう、施設環境の充実に取り組んでいます。

みらいの種



導入するChromebookを確認

新型コロナウイルス感染症が、教育の在り方を大きく変えようとしています。子ども一人に付き1台の学習用端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備する国の「GIGAスクール構想」が前倒しされ、厚木市でも今年度中の整備を目指しています。情報通信機器(ICT)は、鉛筆やノートと同じように学習に不可欠なアイテムとなることでしょう。構想の目的は、子どもたちを誰一人取り残すことなく、個々の状況に応じた学びを実現し、それぞれの資質・能力を一層伸ばすことです。教職員は、端末を通じて、一言授業における一人一人の反応を把握しやすくなるだけでなく、個別学習においても学習履歴の記録を生かしてそれぞれの理解度に応じた指導ができます。一方で、教職員の意識改革とICT活用スキルの向上が課題となるほか、緊急時におけるオンライン教育の手段としても研究していく必要があります。ICTの活用は、より深い学びの実現へ転換していく絶好の機会です。教育委員会では、諸課題の解決に万全を期すことで、子どもたちの可能性を広げ、予測困難な未来を生き抜く力を身に付けられるよう全力で取り組んでまいります。



平成15年に入会し、21年から代表を務める内田さん



布の絵本の温もりを子どもたちに

あつぎ・クロス・ゆう(A・C・Y)代表 内田秀子さん(69・愛名)

「あつぎ・クロス・ゆう」は、布製の絵本やおもちゃなどを手作りするボランティア団体です。作るのは、ぬいぐるみや手遊びができるおもちゃ、ままごと遊びに使う野菜やケーキ、平仮名・数字カード、子ども用の防災頭巾など、全て布製です。温もりのある柔らかな手触りなので、子どもたちに喜ばれています。私たちの団体は平成3年に結成され、今年設立30年目を迎えます。当時、図書館が開催した布製絵本作りの講習会に参加した人が中心となり、活動をスタートさせました。現在の会員は、60代から80代までの主婦15人。手芸が大好きなメンバーが週1回、保健福祉センターにあるボランティアセンターで和気あいあいと活動しています。

絵本やおもちゃは、主に学校や施設から依頼を受けて作ります。図書館をはじめ、小・中学校の特別支援学級や子育て支援センター「もみじの手」、療育相談センター「まめの木」、児童発達支援センター「ひよこ園」、保育園などに届けています。現在作製に励んでいるのは、教育委員会から依頼された絵本作り。要望は、生活の中の基本的な動作が練習できる絵本です。靴ひもの結び方やボタンの留め方、ジッパーの開閉、ベルトの通し方などを遊び感覚で学べるよう、特別支援学級の子どもたちが使う様子を思い浮かべながら、みんなで作り方を話し合いました。靴は、生地で作ると柔らか過ぎるので、実際に履けるように本物の靴を使うなど、いろいろな工夫を凝らして作製を進めています。



団体名の「ゆう」は、「遊」と「YOU」を掛け合わせたもの

布の絵本の展示

あつぎ・クロス・ゆう(A・C・Y)が作製した布の絵本を展示しています。温もりのあるかわいらしい絵本を、ぜひご覧ください。

【場所】中央図書館
地下1階展示スペース
【期間】1月末まで



地下道からの入口近くに展示

中央図書館 ☎225-2570

おうちで給食レシピ

ひじきと言えば、主に煮物を思い浮かべる方が多いと思いますが、給食では、サラダに入れたり、ふりかけにしたりと、さまざまな料理に使います。

ごはんがすすむ！ ひじきふりかけ



材 料 (作りやすい分量)

- ・乾燥芽ひじき(または長ひじき)・・・15g
- ・酒・・・大さじ1 ・みりん・・・大さじ1 ・水・・・大さじ2
- ・砂糖・・・大さじ1 ・しょうゆ・・・大さじ2 ・酢・・・小さじ1
- ・粉かつお(またはかつお節)・・・15g ・白いりごま・・・大さじ1

作り方

- ①ひじきは、水またはお湯で戻しておく。
- ②①を鍋に入れ、酒とみりんを加えて加熱し、ひと煮立ちさせる。
- ③水、砂糖、しょうゆ、酢を加え、弱火で煮詰める。
- ④最後に粉かつお、白いりごまを加え混ぜる。

ひと口メモ

給食で提供する手作りふりかけには、小松菜や大葉をみじん切りにして水分をよく飛ばしたものや、ちりめんじゃこを使用したものもあります。

人気の給食レシピを市ホームページに掲載

厚木市 給食レシピ [検索](#)

数字で見るあつぎの教育

Q これって何の数字

2,600冊

A 移動図書館車わかあゆ号に載っている本の数です。

6代目わかあゆ号は、令和2年2月に登場し、公園や児童館、大規模集合住宅、高齢者施設など、25カ所を巡回しています。2週間に1度、各巡回場所を回り、滞在時間は30分から1時間程度。車外の書架には児童書と小説、車内には大人向けの実用書などを積み込んでいます。季節に合わせた品ぞろえをするほか、巡回場所と利用者に合わせて、毎日積み込む図書を入れ替えています。

現在、中央図書館や公民館図書室で「こども読書マラソン」を開催しています。図書館(室)で配布している読書



令和元年度は延べ2万冊を貸出

通帳に読んだ本を記録し、窓口で見せると10冊ごとに「あゆコロちゃんグッズ」がもらえます。便利なわかあゆ号を利用して、お気に入りの一冊を探してみませんか。

巡回日・場所は

厚木市 わかあゆ号 カレンダー [検索](#)

こども読書マラソン

【場所】中央図書館、公民館
図書室(依知北・睦合北・睦合西・荻野・小鮎・玉川・南毛利・相川・森の里)
【期間】3月末まで
【対象】小学生以下



あつぎ郷土博物館でかつばを見よう

2月11日から始まる特別展示「永遠帰郷の生命一人はどこから来て、どこへ行くのかー」では、江戸時代の百科事典『和漢三才図説』を紹介。その中には、かつばに似た妖怪「川太郎」もいます。他にも、講演やさまざまな資料展示を実施します。「異界」を感じに来館してみたいいかがですか。



あつぎ郷土博物館所蔵『和漢三才図説』一部

のきゅうりを持っておくと良いでしょう。きゅうりで気を引き、その隙に逃げるのです。

■血の水が空っぽになっていたら

いたずらが過ぎて馬に引きずられていくかつばの目撃談もあります。その時は、お皿に水を掛けると、元気を取り戻します。義に厚いかつばから、お礼に魚が届くこともあるそうです。



乾いた皿に水を注ぐ

■相撲を取るようになったら

かつばは、力が強く相撲を趣味にしているの、「おう兄ちゃん、相撲とろうぜ」などとけしかけてきます。かつばの弱点は、頭に寄せたお皿です。ためている水がなくなると、へなへなになってしまいます。そのため、ハッケヨイのポーズで頭を傾けさせ、水をこぼすのが攻略法です。失敗した時のために、好物



皿から水をこぼすことが肝心

i n f o

親子のための 耳より!

インフォ

かつばに会ったときの対処法

恩曾川の上流、上古沢の辺りでは、かつて「かつば」がよく目撃されてきました。もし、道を歩いていて出会ったら、驚かずに落ち着いたやりとりを心掛けましょう。

参考:『恩曾川のかつば』樋口淳・文/西山三郎・絵